

3.1ビキニデーの取り組みに参加しました！

枚方香里地域活動委員のTが、2月28日の快晴の中、3.1ビキニデーの取り組みに参加してきました。ここに紹介しようと思います。

3.1ビキニデーとは

1954年3月1日 アメリカがマーシャル諸島内・ビキニ環礁で水爆実験を行いました。日本のマグロ漁船「第五福竜丸」を含む900隻以上とマーシャル諸島の約2万人が被ばくし、以降「原水爆禁止」を求める声は全国的な運動に発展。毎年3月1日には第五福竜丸の母港がある堺津市で犠牲者の追悼と核廃絶の願いを新たにす集会などが行われています。

<第五福竜丸展示館>

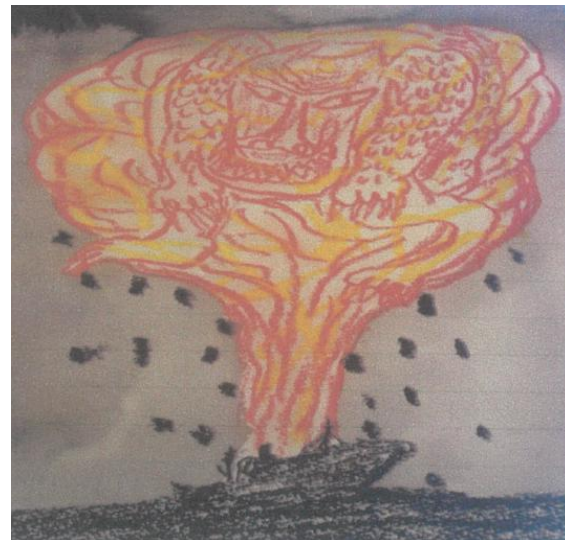
船首



エンジン



その時の状況を描いた絵

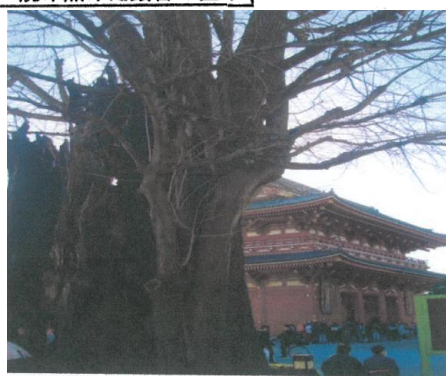


第五福竜丸は「死の灰」(放射性降下物)を浴びて被害をうけた木造のマグロ漁船です。「死の灰」を浴びた23人の若い漁師たちは被爆による重い症状がでて半年後には無線長の久保山愛吉さんが亡くなりました。第五福竜丸のエンジンは別の船に取りつけられましたが1968年三重県沖で座礁・沈没し、エンジンは海中に没しました。その後28年ぶりに和歌山市民生協職員のお父様が寄付を集め海中からエンジンを引き上げられました。引き上げられた元第五福竜丸のエンジンは、展示のために全国を点々と移動したそうです。枚方にも展示するためにエンジンが来たそうです。

感想 実際に駅から歩いてみて遠いなあと感じました。ここに漂流してあったというお話で納得しました。中に入ってみると本物の第五福竜丸の迫りにびっくりしました。広島・長崎の話は聞く事が多いですが第五福竜丸の事もたくさんの人に知ってほしいと思いました。

<浅草寺東京大空襲戦跡めぐり>

焼け焦げた銀杏の巨木



第五福竜丸展示館を見学した後、浅草寺東京大空襲戦跡めぐりをしました。

戦争により亡くなられた方々の碑



感想 浅草寺といえば「寅さん」のイメージしかなく、東京大空襲があった所とは知りませんでした。たくさんの観光客がいる中でガイドさんの説明を聞きながら、生々しく残っている傷跡を見て回りました。地元のガイドさんの説明が分かりやすく、次回は観光で来るとは思いますがその時は私が説明しようと思います。銀杏の木がこんなに傷跡が残っているのに、きれいな黄色の葉をつけている所が見たいです。

伝えたいこと

原爆の話になると広島・長崎となりますが、水素爆弾の実験により、被爆した第五福竜丸の話も重要なんだと改めて知りました。まだロシアとウクライナの戦争は続いています。本当に早く終わってほしいと思いました。

3.1ビキニデーから、原水爆禁止を原語で第五福竜丸の係留地東京夢の島から広島まで行進をつないでいく「ピースリレー」。さて、おおさかパルコ7°のピースリレーは？



うら面へ →